



文責 久保



H29.6.22 NO.3

### 「球磨川の洪水の話し」

～六月二日(金)全校朝会講話より～

### 球磨川の洪水の歴史

869年	大洪水	家がながされる
1539年	大洪水	家がながされる
1650年	大洪水	360人死、家4200戸 牛600頭ながされる
1653年	大洪水	人名家、米12600石被害
1677年	大洪水	避難場所決壊 432人死
1753年	大洪水	避難場所決壊306人死、田畑被害
1816年	大洪水	避難場所決壊、田畑被害
1885年	大洪水	避難場所決壊、床上浸水10戸
1941年	大洪水	床上浸水2560戸、田畑被害
1963年	大洪水	死者7人、床上浸水2000戸
1965年	大洪水	死者・行方不明6人、田畑被害
1972年	大洪水	床上浸水11000戸、田畑被害
1982年	大洪水	床上・床下浸水 3700戸
2004年	大洪水	床上床下浸水 50戸
2005年	大洪水	床上床下浸水 119戸
2006年	大洪水	床上床下浸水 80戸
2008年	大洪水	床上床下浸水 33戸
2011年	大洪水	床上床下浸水 8戸

植柳校区を流れる球磨川は、熊本県内最大の川で日本三大急流の一つです。農業、林業、漁業、観光、工業、発電などたくさん産業を支え、また飲み水など、私たちの生活に欠かせない、まさに生命の泉ともいえる川といっても過言ではないと思います。人吉盆地から八代平野・八代海へとつながっており、長さは百五十キロメートル。流れる市町村は九つ。九万の谷から水が流れこむことから「九万川」と呼ばれ、現在の「球磨川」となつたと言われています。

八代市では、球磨川祭りや全国花火競技大会が開催されるなどまさに恵みの川なのですが、昔から幾度も洪水が発生し、人々の生命、財産を奪うなど、被害をもたらしてきた川でもあります。

中でも、一七五五年に発生した萩原堤決壊による大洪水は、五百六十六名の方が亡くなる大災害でした。そのとき八代郡目付だった稲津弥右衛門さんは、自分から堤防づくりの奉行となり、仕事に応じてお金を払う仕組みを取り入れたり、自分の財産もつぎ込んだりしました。高さ九m、下幅四十五m、上幅十三メートルという堤防を二キロに渡って造りました。工事期間も一週間と言われています。



稲津弥右衛門 宝暦萩原堤

「そうだ。この話を児童劇にしよう」と本校の白木成邦先生。昭和十二年に旧講堂で演じられたのが最初です。以来、昭和三十八年まで毎年演じられましたが、中断。平成元年になって台本が発見され、保存会が中心となり、八代市学校文化祭で二十五年ぶりに上演されました。以来、七年ごとに上演され、八年、十五年、二十二年、そして今年がその上演年度に当たるわけです。皆さん、児童劇出演者の募集が六月下旬にありますので、ぜひ挑戦してみてください。(※二十六年年度にも中間発表)



児童劇の子どもたちによる演劇「球磨川」

☆児童の感想  
私は、この話しを知りませんでした。江戸時代に堤防が洪水で壊れ、五百人以上の人が犠牲にあったのがかわいそうです。稲津弥右衛門が一週間で堤防を作り上げたのがすごいと思いました。(四年 平松珠さん)  
ぼくは、前回は萩原堤の劇に参加しました。言葉と覚えるのが難しかったです。でも、今回やってみると、(四年 花岡貴優さん)  
思ったことか二つあります。一つは、堤防を一週間で造ったことです。すごいと思います。二つ目は、みんなのために堤防を造ったことです。優しい人だと思います。私も劇をしたと思います。(四年 水本りんさん)  
球磨川の洪水が、八代が被害に遭ったことを初めて知って驚きました。熊本のこと、どんな被害があったか、調べてみました。熊本で昔、何があったか、もっと知れたらと思います。(五年 橋本宏希さん)

洪水が起きたら、五百人の人が死なせたというの、ひど過ぎるし、悲しくなりました。でも、稲津弥右衛門さんのおかげで堤防が一週間で造ったことはとても素晴らしいと思います。私はそんな人になつてみたいし、役にたかせたいです。(五年 黒木桜衣さん)  
話しを聞いて昔の人に感謝とすくなく思いました。おかげで、今、みんなが楽しく遊べていると思います。ぼくは三年生のとき、宝暦萩原堤の劇をしたので、今年もチャレンジしようと思います。(六年 近松一歩さん)  
昔の人の工夫によって私たちが守られてきたことが分かったので、感謝の気持ちでいっぱいです。先輩たちがやってくれた劇をやってみたいと思います。(六年 竹本乃花さん)

### さわやかな青空の下で

五月二十八日(日)

本年度の植柳小学校運動会を五月二十八日(日)さわやかな青空の下、開催しました。大会スローガン「笑顔であきらめず一生懸命、心を一つにやりきる運動会」の言葉通り、伝統の植柳盆踊り、棒踊り、桑田杯、浅野杯はもちろんです。各種目で子どもたちの笑顔がはじけた大会となりました。応援団長の二人から次のようなメッセージが寄せられましたので、紹介します。

☆僕は応援団長ができたので、すごく嬉しかったです。先生方や自分を団長にしてくれたみんなに感謝の気持ちでいっぱいになりました。(赤団団長 富田竜輝さん)  
★青団五連覇は、みんなが頑張ったおかげで、みんなが楽しんでいます。最高の思い出だったので、本気で楽しかったです。(青団団長 平松青大さん)

### SCHOOL HOT NEWS

日本の伝統文化の一つ、和太鼓の調べを味わう芸術鑑賞会を保護者、地域の方々をお招きし、六月十四日(水)に開催しました。

今回文化庁主催「文化芸術による子どもの育成事業」でお願いいただいたのは、和太鼓集団「志多ら」のメンバー九名。愛知県を本拠地としながら、全国都市や世界各地で和太鼓や和楽器の素晴らしい演奏を伝えている方です。公演では、ユーモラスな獅子舞や実際に太鼓を叩く体験学習を交えながら、会場に和楽器の力強い響き渡っていました。



児童代表お礼の言葉 和太鼓演奏に挑戦！ 獅子舞に大興奮！ 演舞を披露する応援団 いざ、スタートだ！ 力強い「誓いの言葉」

- #### 7月の主な予定
- 3日(月) 代表委員会
  - 4日(火) 授業参観、家庭教育学級
  - 5日(水) 校内研修 豊かな心を育む講演会
  - 6日(木) 委員会活動
  - 7日(金) 全校集会
  - 9日(日) 妙見祭出し物体験教室
  - 11日(月) 人権について考える日
  - 12日(火) 校内研修、学校保健委員会
  - 13日(水) クラブ活動、PTA 読み聞かせ
  - 14日(金) 児童集会
  - 17日(月) 海の日
  - 19日(水) 校内研修
  - 20日(木) 終業式
  - 25日(火) 市童話発表会
  - 26日(水) 市小中特別支援学校音楽会
- ※水泳教室→21日・24日・27日

#### 八代妙見祭出し物体験教室のお知らせ

期日：七月九日(日) 午前九時半～十二時  
場所：植柳小体育館  
内容：八代妙見祭の出し物に触れる体験(「獅子」「亀蛇」「笠鉾」他)や「がめさんダンス」教室、ポニー乗馬  
※どなたでも参加できます。

- ☆指定図書への寄贈 明るい社会づくり運動八代協議会より、五日(月) 西日本読書感想画コンクールの本数冊を寄贈いただきました。写真は、図書委員児童への寄贈の様子です。
- ☆交通安全教室の開催 十九日(月)～二十日(火)の二日間にかけ、交通安全協会等の全面的な協力により、低・中・高学年別に安全で正しい交差点等の渡り方や自転車の乗り方についての体験学習を行いました。☆子ども自転車大会三位 第三十九回を迎えた子ども自転車大会八代地区大会が十日(土)、総合体育館で開催されました。六年生七名が二週間にわたって毎朝練習に取り組む、見事総合三位に輝きました。
- ☆プール開きの開催 十九日(月)、三年生を最初に、各学年毎のプール開きが開催されました。水に親しみ、進んで泳力をつけることにも、安全に留意して水泳を楽しんで欲しいと思います。

プール開き 子ども自転車大会 交通安全教室 本の寄贈式